後期高齢者医療導入への準備を学ぶ

インターフェースデータ作成等研修会

府後期高齢者医療広域連合主催のインターフェースデータ作成等研修会は６月２０日、ルビノ京都堀川で、後期高齢者医療担当職員、電算担当職員、電算委託業者９７名が参加して開催された。

同広域連合の中村俊二業務課長の開会挨拶のあと、日立製作所の古泉行恵氏が「環境構築について」「データーセットアップについて」「保険料仮算定について」それぞれ説明した。

末年４月から始まる後期高齢者医療制度に向けて、導入・構築時の実作業を円滑に進めるよう参加者の表情は真剣だった。